

第2回
定例会

一般質問

第 2 回定例会の一般質問は、6 月 12 日、13 日の 2 日間行われ、9 名の議員が登場し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、市長に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方、また市民に密着した問題などをたずねるため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



古河市議会ホームページ、
またはQRコードからも
一般質問の様子をご覧いた
だけます！

古河市議会中継 検索



靄見 久美子 議員

幼小連携について

問 幼小連携は、幼児教育と小学校教育の違いによる小1プロブレムの解消や幼稚園から小学校への円滑な移行を目指すものである。小1プロブレムに対しての市内小中学校、幼稚園での取り組みと、本市の今後の取り組み、方向性について伺う。

答（教育長） 昨年度、小学校全 23 校、5 歳児クラスのある幼児教育施設 38 施設のうち、35 施

設で学校案内や遊びを通じた触れ合い等、交流連携を実施した。特に、駒込小とこまごめ幼稚園、仁連小とひかり幼稚園はさまざまな取り組みを積極的に行っており、今後の保幼小接続のモデルとなると考える。今後は、各施設で実施した内容の反省点を生かし、年間計画を毎年更新していきたい。また教育委員会主催の研修会を行い、カリキュラムの確認等を行う予定である。

多目的トイレについて

問 視覚障がい者の方が多目的トイレを使用する時、内部レイアウトがわかるよう、入口に点字の案内表示を設置してはどうか。また、オストメイト対応前広便座は、座ったまま排泄物処

理ができる。便座のみの交換で一般トイレにも設置が可能であるが導入について所見を伺う。

答（健康福祉部長） 現状では、点字を活用した多目的トイレ内の案内表示はない。市民のニーズ等把握し対応していきたい。また、オストメイト対応前広便座については、利用者の利便性や、通常の便座に取りつけできるというコスト面においても有効性があると考えており、導入について、検討していきたい。



オストメイト対応前広便座